

【草花の部屋】

ネモフィラ（ムラサキ科ネモフィラ属 *Nemophila*）

和名：ルリカラクサ(瑠璃唐草：*Nemophila menziesii*) **別名**：

英名：Baby blue eyes

シソ目 一年草 **原産地**：北アメリカ

花言葉：可憐、どこでも成功、あなたを許す **花色**：青、復色



← 写真-1 ネモフィラ

撮影日：2024年3月14日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↘ 写真-2 ネモフィラの花

撮影日：2024年3月14日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ネモフィラの葉

撮影日：2024年3月1日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

郊外散策中に、プランターの片隅に咲いている小さな花を見かけました。よく見るとネモフィラでした。国営ひたち海浜公園をはじめ、各地で見られる大規模花畑の主役として有名な花ですが、最近是一般の家庭でも、春の花壇やコンテナの寄せ植えなどに多く利用されています。緑化材料のワイルドフラワーとしても利用されているそうです。グラウンドカバーや花壇の前面、鉢植えのネモフィラは、コンテナの脇に植えたり、垂れるように咲くのでハンギングにも向いています。

花期は春で、白に空色または青紫色の深い覆輪があり、中心部に黒い点が5つあります。茎は匍匐性で横に広がりますが、そこから根を出すことはないそうです。葉には羽状の深い切れ込みがあり、茎と葉に柔毛があります。細かく切れ込んだ葉が密に茂り、自然に分枝して咲きながら大きくこんもりと成長します。

日照が多く、冷涼な気候を好み、比較的寒さに強く、丈夫な草花で、花壇・鉢植え・プランター植えなどに向きます。一方、直根性で移植を嫌い、太い根を少しでも痛めると大きなダメージを負います。苗を植え付ける時には根を崩さないように注意が必要で、庭やプランターや鉢に、直接蒔くと良いそうです。多湿だと株が蒸れて病気になるやすいので、葉が混み合ってきたら、全体の3分の2程度を残して上の部分を切り取る切り戻しをすると良いそうです。

ただし種を採りたい場合は、花はある程度残しておく必要があります。全てを残すと新しい花が咲かなくなり、全てを摘み取ると実ができなくなってしまうので、バランスを考えながら行う必要があるそうです。

<ちょっと一言>

*ネモフィラ属は、APG 植物分類体系では、ムラサキ科ですが、新エンゲラー体系、クロンキスト体系では、ハゼリソウ科に分類されています。

*ネモフィラは属の中に約11種あります。

一般に園芸では品種が豊富にあり青色や紫色、黒色等の花を株一面に咲かせるルリカラクサ、白色に青色の斑が入る個性的な花が魅力のマクラタ種等が親しまれているそうです。一番出回り量が多い品種は、ブルーの品種「インシグニスブルー」だそうです。